

キーンと冷えた冬の夜空に
花火が舞い上がる。

「3・2・1・スタート！」
ステージ音響からのカウン
トダウン。22時の森へと選手
は散る。今夜のルスツは眠ら
ない。

2005 スキーオリエンテーリング
北海道選手権大会
2005年2月26日(土)-27日(日)
北海道虻田郡留寿都村ルスツリゾート



21時50分のスタートを待つ参加者。後ろにス
テージが見える。身が切れるほど寒い、レ
ースが始まれば心も体も熱くなる。

マイナス10度のナイト0

北海道の寒さはハンパじゃない。し
かも雪山の夜ときた日に凍え死にそ
うだ。しかしそんな夜にオールナイト
パーティ営業の北海道ルスツリゾート。

バンド演奏、デモ滑走、松明滑走、
そして打ち上げ花火。ゲレンデ特設ス
テージの周りには人が続々集まってい
る。そして最後にナイトスキーオリ
エンテーリングのカウントダウンが行わ
れた。

マススタートで一斉に飛び出した。
ヘッドランプと地図を持って、ルスツ
リゾート遊園地内部の特設スキー0
コースでフリーポイント0。冬期閉鎖され
た遊園地はひとときの迷路となった。

30分のレースを終えるとさすがに足
が辛い。短いコースだと思うと全速
力滑走してしまう。そう、今日は昼



スキーナイト0の地図。冬期閉鎖中の遊園地の中がテレイン。
ジェットコースターの下をくぐり抜け、回転木馬を横に見る。

にもスプリントレースが1本あった。1
日2本のレースを終え、氷点下で凍り
ついた体を大浴場で融かすともう深夜。
ビールの1本など飲もうものなら、心
地よい睡魔がやってくる。

「オールナイトルスツ！今夜は眠ら
ない！」そんなステージの声が耳の奥
でこだまする。それに応えて呟く。「今
夜はオールナイトで眠るぞ」

アトラクション的要素の強いイベン
トだったが、今シーズン一度も勝てな
かった高橋美和にも勝てたし、気分よ
く寝よう。



筆者・木村のライバル高橋美和
もっとも美和は相手にしてくれていない

奥の奥の奥の細道・スプリント

ナイト0が行われる8時間前。実は
ルスツでの第一レースであるスプリン
トが開催されている。

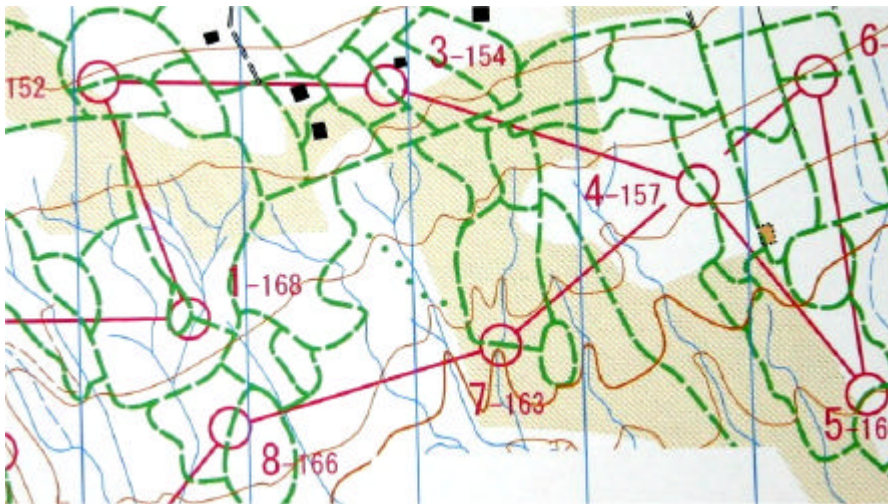
オープンエリアやピステ道が発達し
ているルスツとしては珍しく、すべて
のトラックがモビルで作られたナロ
ートラックだった。「げげ、ナロート
ラックばかりじゃん。先週はピステで
トレーニングしたけれど全然活かせな
いな。」

しかしナロートラックの整備状況は
素晴らしく、非常に質の高いレースが
提供されていた。

毎年、ルスツでの大会は大雪や吹雪
に祟られることが多く、こんなに素晴
らしい整備状況で大会が迎えられたの
は実に4年ぶりという。

こんな中、世界選手権代表選手の山
田敦史が優勝を手にした。これを弾み
にフィンランドでひと暴れして欲しい。

優勝候補の元木は最終コントロール
へのアプローチミスで沈んだ。スウェ
ーデンから再来日したグスタフソンも
飛行機に乗り遅れて大遅刻スタートに
沈んだ。



スプリントコースの地図。地図にはナロートラックしか存在しないスキージャンプ専用の滑走テクニックがその真価を發揮するコース

こんな中、酒井佳子が山田のビタリ後に付けている。男子選手はうかうかしていると女子選手に抜かれてしまいそうだ。

今年は内山が調子いい。今年の大会はこれまでずっと運営側に回っていた。その欲求不満を吐き出すかのようにこのスプリントで3位に付けた。

スプリント(ステージ1)

カテゴリA

1	山田敦史	24:28
2	酒井佳子	24:40
3	内山孝博	27:10

カテゴリB

1	渡辺英男	46:17
2	小坂 猛	47:27



スプリントのスタートゲートはイグラー。エスキモーみたい！ どうやって作ったの？

スプリント優勝者 :山田敦史

優勝はうれしいです！ コースは難しかったです！

勝因は集中力が最後まで切れなかったことです。今日はスピードの出るピステ(圧雪道路)がコース上になく、スピードが遅いながら一定でした。このためスピード感覚を途中で切り替え

る必要がありませんでした。ある意味課題が単純だったおかげで、がまんし続けていれば良いという感じでした。

気の抜けない難しいナロートラックばかりだったので集中力も切れずに最後まで行けました。ライバルが次々に沈むという運にも恵まれました。

このレースで一番になったので、世界でも戦えるようにがんばってきます。



山田敦史フィニッシュ 追い込んだ表情

晴れのち吹雪・ミドル

オールナイトルスツが明けて日曜日。メインレースのミドルディスタンスが行われた。

朝からピーカンの青空が広がった。「感激です！ ルスツで大会をやった4年間。やっと天気にも恵まれました！」北海道協会の山田健一が感涙にむせぶ。

しかし朝の青空はフェイクであった。一斉スタートが終わると、天気は急変しアツという間に吹雪へと変わっていった。おそろべルスツの天気。この日は快晴と吹雪が交互に5回ほど訪

れるという変な天気。

コースはルスツ名物の激登りと激下りのコースが展開する。世界選手権前に、少しハードなセッティングとなっている。ピステ道がコース上にもあるが、ピステ道を使う時間は短く、ナロートラック主体の勝負となった。

レースのほうは元木悟が昨日のミスを上回る1位。好調の山田敦史が2位。3位が酒井佳子。相変わらず山田敦史と酒井佳子の秒差勝負は変わらない。

グスタフソンは最速タイムを叩き出すもペナ。昨日のナイトもペナだし、グスちゃんイトコなしである。



雪に煙るルスツタワーホテル。テレインに浮かぶ摩天楼。

さて、筆者木村もピステ道では他の選手になんとか追いついてはいたが、ナロートラックの急な下りで一回転の転倒をしたと思ったら、他の選手は視界から消えていた。あとはひたすら一人旅。ナロートラックでの滑走技術が全然付いていけない。この大会の参加者のレベル自体が非常に高いのだ。

スキージャンプの参加者も近年は固定化傾向にあり、レベルがどんどん上がっている。しかし新規参加者が少ない。もっと多くのレベルの参加者に参加してもらいたい。

ミドルディスタンス(ステージ3)

カテゴリA

1	元木 悟	0:58:08
2	山田敦史	1:02:23
3	酒井佳子	1:02:39

カテゴリB

1	小坂 猛	1:17:42
2	渡辺英男	1:49:14

カテゴリC

1	Rebecca	1:15:00
---	---------	---------



ミドルディスタンスのスタート風景。マススタート2 マップによるワンマンリレー方式で競う。地図読みもさることながら、他人をどのように使うかもポイント。

ルスツの2月

例年、ルスツ高原のスキー0大会は1月に開催されていた。しかし1月は天気が荒れる。これは北海道に限らず、日本各地の雪国は同じである。1月は早い時期だと雪が無い場合もある。そして降ったと思うとだいたい大雪だったりする。しかも雪質はフカフカでコース整備が大変だ。

今回のルスツ大会を2月後半にしたことが、やっぱり吉と出た。多少は吹雪いたものの、予定していた3レースをほぼベストコンディションのまま、不成立もなく参加者に提供することができたのだ。

少ないメンバーでこれだけの準備を提供してくれた北海道協会のメンバーには感謝したい。



閉会式で挨拶する北海道協会のヤマケンこと山田健一。ピバ！オーレ！

トレインを選び、気象条件を選び、コース整備と地図作成に思い切り手回しヒマかけるスキーオリエンテーリングってなんて贅沢な遊びなのだろう！

参加者は体力、地図よみはもちろん、スキー技術、ナロートラックや新雪を突破する技術・判断。用具の選び方やワックス選定などなど、自分の得意分野を活かしてそれぞれのスタイルで勝負に持ち込める楽しみがいっぱいなのだ。



ナロートラックをプレーキングしながら降りてくる渡辺英男。写真でみるよりずっと急坂。気分はジェットコースター

2009年世界選手権日本へ？

さて、このルスツで思いがけないニュースを聞いた。2009年のスキー0世界選手権を日本で開催するということがIOF（国際オリエンテーリング委員会）で決定したというのだ。

世界選手権というと、今年の夏にフット0の世界選手権が愛知県三河高原で開催される。この2005年世界選手権決定までには激しい誘致合戦が繰り広げられた。では2009年スキー0世界選手権についてはどうなのか？

消息筋によると誘致合戦は無かったようだ。IOFに加盟している国は沢山あるがその中でスキー0が行われている国は限られている。2年に1度行われる世界選手権もヨーロッパだけで開催されている。今まで一番東で開催されたのはシベリア。アジアでまともなスキー0を行っている国は日本だけだろう。

では日本のどこで世界選手権が開催されるのだろうか？残念ながらこれはまだ白紙である。受け入れ先が決まっていないのである。

日本ではスキー0の世界選手権が単独で成立するほどの競技人口はいない。それにも関わらずIOFはどうして日本で世界選手権を開催させたがるのか？

想像するに、それはオリエンテーリングがオリンピック種目入りを目指しているからである。

フット0をオリンピック種目にするのは非常に難しい。一番可能性があるのがスキー0である。オリンピック種目になるためには、ある程度世界の各地で開催されている実績が必要だ。しかしスキー0の世界選手権はヨーロッパ地域以外での開催実績がないのだ。

そこで日本にもヒトツ協力して、アジアでの開催実績を作ってくれないだろうかというコトなのではないだろうか。

（木村佳司）



ルスツ高原で研修中のスウェーデン3人娘もスキー0に挑戦。楽しみ。



スキー0研究会 高島。4月2-3日安比高原でスキー0合宿をやります。